

1. 件 名：三菱原子燃料株式会社による核燃料輸送物設計承認申請（MX－6 P型核燃料輸送物）に係る面談（2）
2. 日 時：令和2年10月5日（月）10時05分～11時00分
3. 場 所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※はTV会議システムによる出席）：
原子力規制庁 原子力規制部 核燃料施設審査部門
浦出主任安全審査官、山後安全審査専門職
三菱原子燃料株式会社
燃料技術本部 燃料・炉心技術部 燃料設計課 主査 他2名※
トランスニュークリア株式会社
技術部 部長※
5. 自動文字起こし結果：
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こしによるものであり、誤りを含む場合があります。
※一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。
6. その他：
【事業者からの配布資料】
資料1 核燃料輸送物設計承認申請に関するコメントへの回答（MX－6 P型核燃料輸送物）

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい。それではですね、ただいまからMNFさんの核燃料輸送物設計承認申請に関する面談を行いたいと思います。
0:00:10	とですね、発言の前に、初めに所属と氏名を述べてください。使用しないときのマイクのスイッチはオフにしてください。
0:00:19	不開示情報を発言してしまったときは、その場でその旨を規定してください。
0:00:25	はい。規制庁サンゴですけれども、
0:00:29	MNFさんから資料をいただいておりますのでまずこちらのご説明をお願いしたいと思っておりますけれどもよろしいでしょうか。
0:00:36	はい、三菱原子燃料タカハシですはいかしこまりました。オカモトの方から平成オカモト簿からご説明の方をさせていただきます。
0:00:46	はい。MeVのオカモトでございます。それでは前回の面談と審査会合における3件のコメントにつきまして回答JRと変更内容について説明をいたします。まずNo.1の質問でございますが、
0:01:04	輸送容器の吊り上げ時絡みは及びハンドリングメリットが追記されました。本体の健全性について説明することということにつきましての回答は、以下しましてますように、輸送容器のつり上げの本体派遣で前につきまして、
0:01:23	定量的な説明を安全解析書の同省経営構造解析の附属書類6として追加いたします。別紙1をご覧ください。
0:01:40	とお聞きましたように附属資料6として、積み上げ操作×反対の協働というタイトルで追加しております。こちらについて説明差し上げますが、
0:01:56	トランにオン、或いはハンドリングベルトによる別逆操作におきまして、これらは地上げ装置修繕周辺を含む本体側部分に発生する応力を元上へ移送先における荷重に対して、本来が十分な強度を有していることを確認するということで、
0:02:16	以下の評価を実施しております。まず(1)におけるつり上げ操作時ということで、解析モデルとしましては、洞道小の4.5、固縛装置の評価に用いた
0:02:34	モデルと同じものに対しまして、上部フランジ及びそこ行つたそれぞれに人を取りつけるブロック単位をんだということとしますが、これの部分を追加したモデルとしております。
0:02:51	具体的なIAEAモデルにつきましては、次のページの6.1ずつ、合計で示したのか、受け取ります。
0:03:01	この解析モデルを用いまして解析を実施することになりますが、過剰条件及び境界条件としまして沈着フリー特性編成に、それぞれについて荷重d評価条件設定しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:03:18	次各図リングつけまして、その中の条件は、解析モデルの質量は定率当日の全体質疑を受ける 19.5 としまして、係数 3 を利用した授業加速度を採用しております。慌てて内ば出向くとして、当圧力、
0:03:38	上を付加しております。
0:03:41	バスケットと収納物を合わせた内容の質量に関しましては、そのうち、内面に均等に当てるような表現としております。
0:03:55	荷重条件につきましては境界条件につきましては、ただ日本はVにより保安にオンザに影響に保険されておりますので、全部のPRA日本財団にただ日本にかけた抗体のシェルを介しまして、中心に設計に対して重力波速度方向の変位、
0:04:15	拘束するというような条件としております。
0:04:18	一本の制限図に関しましては、荷重条件については、解析モデルの質量は、ISOの全体資料 19 言語上積極的にお話しまして、不可欠性も同じ 3 を乗じた重力加速度させております。
0:04:37	同様に内部圧力も考慮しております。
0:04:41	内容の質量は、垂直振りと同じでFAXを耐える装置の解析モデル等も同じようにして、内容物の質量を考慮した密度を何かに与えております。
0:04:55	協議会の条件につきましては、全部とポンプのホンダに定着度RIのモデルと同様にさらにまた資料廃止、その中心に設計に対していろいろ加速度この辺をよくするというので、積極的と同じような条件でしております。
0:05:14	需要目次書いて還元カーとなりますが、全局マリーに対する解析の結果を、応力分布トレスカ能力区分Ⅱに示したものが、
0:05:29	次のページの 6. 人数、6.3 図になります。また最大応力をさまた次のページ、失礼しました。86 ページ。
0:05:45	の危険事項にまとめておりまして、情報フランジないかどうかセット炉外ばにつきまして設計降伏応力等スズキって発生した応力を比較している。8000 応力が設計動く。
0:06:04	大きく下回っているということを確認しております。
0:06:09	水辺ツリーにつきましては、統合力分布を同様に 6.46. 5 トン売りまして、疾病等 86 ページに鉄塔評価結果を表としてまとめておりますが、
0:06:25	上部フランジからこういった場合どう伸ばせると、道外版につきましては、これも同様に設計広報力が発生応力線、圧搾という部分が結構下回っていると。
0:06:43	ということを確認しております。これらのことから、／における吊荷をつり上げ装置におけるQに対して、本来は十分な強度を有しているということが確認しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※ 3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:06:58	続きまして 186 ページの下側の (2) からが、ハンドリングベルトによる吊り上げ操作Eの評価となっております。こちらの解析モデルにつきましても、英語版装置のモデルを用いております。
0:07:17	荷重条件及び設計条件につきましては、活用条件としましては、吊上操作というのかという条件つきまして、ノフェーズ 3 を乗じた入力加速度を解析モデル全体に採用させており、自主性霊園内部圧力も考慮した条件としております。
0:07:38	境界条件につきましては、班員のリングMeltはドーム部明電舎にはた連絡設備用に取り付けられているよりますので、指定取付部のドーム部の範疇について半径方向の変位を拘束するという条件としております。
0:07:56	加重及び境界条件は、次の時と 6.6 図に示しております。
0:08:06	欧米の解析結果でございますが、本体の変形及びハンドリング等を見つけた部分の部品で発生した効率化応力の分布を 188 ページの図 6.7 はやろう 6.7 と
0:08:26	8 にそれぞれ示しております、関西で発生応力をその次のページ 189 ページの 6.3 表にまとめております。この表に示します通り、
0:08:43	内等増加セットの場合場合に発生する暴力は、クレーム効力を十分下回っていることを確認できております。したがって、ANDリングMeltによるつり上げ操作が受ける荷重に対しては、
0:09:00	本来は十分な共有しているということを確認しました。
0:09:05	この附属書類 6 の方を追加することに伴いまして、がい効率性ドーム部のJRの本文についても一部修正がありまして、
0:09:22	別紙 2 が該当の部分になります。つり上げ装置の冒頭の部分につきまして、英語の附属書類 6 を引用するような文章を追加するところを別紙時で示しております。
0:09:43	質問石井に対する回答は以上になりますが、スペース等、
0:09:53	見るべき質問 2 を考えてもよろしいでしょうか。
0:09:59	はい。規制庁のサンゴですけれども、引き続き、そのまま続けて 3 までお願いつめお願いします。
0:10:06	かしこまりました。それでは手続きで名簿オカモトが説明いたします。
0:10:12	質問No.2Eにつきましては、運営の改定質問は、放射性物質の漏えいがないことの説明では、一般運送事業閉合老健連成に加えて、開口部となるという変位についても説明することということでございます。
0:10:32	これに対する回答は、開口部となる部位の変位について、一般の試験条件の落石試験及び自由落下における採択ガasketの墜落変形の不定量的な説明を、安全解析書の訴訟で構造解析の

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※ 3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:10:50	6書類7として追加いたします。
0:10:55	上載連合が別紙4の通り安全解析書の本文を連携して返却しますというところでございます。こちら一般等の熱的負担条件の
0:11:13	堰外ビジュアルカードのビルぐらいの活性化にこちらの変形量の説明について連続する流れについて説明しておりますが、A型輸送物に関わるビル用の基準の種類8560kPaとした場合に、
0:11:31	渡せる質問がないことにつきましては、一般の試験条件における面積式検定を動かしているというところでございます。
0:11:40	そうしましたら具体的な附属書類7の説明をさせていただきたいと思っておりますし、別紙の3個、ご覧ください。ループシールshallに7、一般の試験条件における売上変形量というタイトルで、
0:11:58	資料を追加いたします。
0:12:02	一般の試験条件の面積式案及び自由落下における付帯のバスケット部の不適だけ変形量を求めるっていつけたのは、直接締め付けしろつくれ白を比較するという評価を実施しております。
0:12:19	まず名先試験につきましては、列が口火なく変形量は密封境界となっておりますF対談ガスケット取付部内側のガスケットの平面形状グランド面との距離の変化によって審査される。
0:12:39	ここで下着で7.1mに等の模式図埋蔵示しておりますが、に示すような部分を評価して名刺を確認しております。
0:12:57	はやるべき視点では、蓋間締付ボルトによる取水しておくていいやつのみを付加したケースと外圧と温度分布を付加した係数をそれぞれ評価しておりますので、内部の評価について、間げき防備しております。
0:13:17	その結果を7ページ表にまとめておまして、ここに示しますように、締付外圧またフェーシング性内圧の分布、それぞれの要件に対する
0:13:35	とく地域だけ限定量はつぶれしろがフォンを十分下回っており等、
0:13:44	質問あっているということを確認しております。
0:13:50	このようにA的試験における判定量は数桁の趣旨について資料を説明してやるものよりも十分小さく、密封全般に影響を与えないということを確認しました。
0:14:05	次のページに移りまして、自由落下に対する評価でございます。
0:14:11	具体的なガスケット部の注意ラッキーが生じる可能性ないだろうか報告として、全部垂直落下水平落下d全部ほんなら伺いたい。対象としております。
0:14:23	解析モデルが180度モデルとなっているため、唇だけ変形量の確定位置は代表として、正面に箇所とI正面から90°の生産箇所としております。
0:14:38	具体的な位置は、下の7.2.時に場所を示しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:14:46	落下事象では、口FAX開け変形量は時間とともに変化するため、輸送容器が背後海面に着手してから赤終了までの間の最大値とIAEA中子の値を求めています。
0:15:03	各落下方向にAについて集約変形量を下の 7.2 兆に温めておりますが、三つの落下姿勢AAAに対してのあれが最大値は、
0:15:21	いずれも下落荷重瞬間的に装置しております、その後、
0:15:29	機械化に所則んなっているというところでございます。
0:15:36	というようにこの表に示します失礼しましたます通り、三浦サッカーにおいて、中ほどの口だけ変形量はアセットの初期申請しろ別刷り資料よりも十分小さく、密閉性に
0:15:52	元凶与えないということが確認できました。金庫の指定情報処理 7 に伴う本文側の変更内容については、別紙の業務に示しております。
0:16:13	という
0:16:21	ぐらゐの変更部分はカーブでゲートを示しておりますが、系統水素処理 7 を参照する夫婦 4 を追加しているところと、
0:16:38	治具の表現の中に、次の質問 3 とかっていうふうなところで、どこと関わってることでございますが、印可い解析にもうな運営委員会的でも
0:16:58	対象の生協の考慮について検討されたいというものがありませんので、今後削除してみ、生かせるULところのですね、見込めるというような
0:17:15	表現の増減が言い直したというところでございます。
0:17:22	以上が質問に対する回答になります。
0:17:31	引き続きスズキスズキ質問 3 に対する回答に移らせていただきます。
0:17:39	質問の 3 は、臨界解析で考慮を要する形状の変化臨界解析に影響を与える損傷について具体的に説明することということでございました。
0:17:52	これに対する回答ですが、輸送物の損傷状態、臨界解析モデルでの公表についての説明を、安全解析書の保障臨界解析の附属書類値として追加し、
0:18:08	さらに内等々アレニウス生産の変形の影響を考慮したとかした資料を附属書類履行として追加いたします。また、別紙 7 に示しますが、付与所構造解析及び保証日
0:18:28	解析におきついては、人解析に影響する形状の変化等のL2 パブコメ損傷状態の臨界解析のレベルでの考慮については、保証委員会解析層面するように、本文を修正いたします。
0:18:47	というところで、まずVI書類E-1 について説明を抜粋していただきます。別紙の 5 をご覧ください。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※ 3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:19:02	いろいろ書類 1 床口の損傷状態と臨界解析のモデル化方法というところで、 具体的B値等の解析や解析で確認した指定損傷状態をどのように解析モデル に取り込んだ。
0:19:21	というところの説明を、よく書類として追加をいたしました。
0:19:28	このやまりますが、核分裂輸送物に係る一般及び特別の試験条件における手 探りの損傷状態と臨界解析のモデル化方法を報告 1.1 表から 1.3 表に
0:19:44	示します、というところでは。
0:19:51	号証に移っていただいて、三つの影響を今回悪性しておりますが、AVとして、 本来二つ及び衝撃吸収カバーというシール
0:20:08	容器側の括りとどんなにいい部分にあるバスケットという部位、さらに収納物と いう、日通にVIに対して、それぞれISO別の損傷状態をまとめ、それに対する
0:20:27	臨界担ぎモデルルーのモデル化方法について、そこにした表を作っておりま す。
0:20:38	まず 1.1 表の本来蓋部及び衝撃吸収カバーにつきましてですが、表に示します とおり、核分裂性相当かかる一般及び特別の試験条件のそれぞれの支援に につきまして、
0:20:57	損傷状態、PAそれぞれまとめております。
0:21:02	保護面等の関連サイト脚注の注 1 に書いておりますが、核分裂性輸送に係る 一般の試験条件での見る文明の積み重ね試験及び完成図におきましては、 輸送物への
0:21:20	損傷が生じておりませんので、行動のように浴びるppmについての損傷状態 をまとめて、解析モデルのモデル化方法について整理しております。
0:21:34	まず、自由落下及びIAEA試験落下したものを 1 ということで、0.三五m9mの カーの影響をについてで使して急ぐの損傷状態Eにつきましては、
0:21:53	Nine等RAWがセット当該盤の情報フランジE及び閉鎖ポインターに局所的な 査定ひずみが発生しておりますが、ス様基準を下回っているということが、
0:22:11	確認できております。
0:22:14	また、衝撃吸収カバーにつきましては、
0:22:21	変形が生じるというところが確認で見えております。
0:22:28	次に落下試験 2 の一面の落下時につきましては、これで確認された急ぐと損 傷状態は、凝灰ばどうか窃盗が破断し頭部レジンが露出するところ。
0:22:46	内等の一部が内側に膨らむが破談には当たらないところ。
0:22:53	多分認可／前頭部そこで人カバーにへこみが生じるというところと、緒元吸収 カバーが関数貫通するという損傷状態が確認されております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※ 3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:23:07	次の面積試験でございますが、内等の中央部が膨らむように変形して、内半径が若干大きくなるというような変化は確認されています。
0:23:23	閉弁人の一部かなんかする阿多衝撃吸収カバー内部の木材の位置から発生するという損傷状態Eとなります。
0:23:34	最後に審査系疾患 0.9m及び 15m親戚でございますが、15m浸漬試験において損傷が発生しないということが確認されております。また、0.9mルールのほうでは、
0:23:51	輸送容器の損傷にかかわらず、容器内部への浸水を想定しているというところでございます。
0:23:59	以上の損傷状態を踏まえまして、モデルカーについては、
0:24:08	F臨界解析のモデル化孔口の欄に示します通り、オープン側の 1.1 図からI. 3 図に示しますように、第 2 棟のみをモデル化して、
0:24:25	以下を無視するというところで、等価セット当該盤ドーム部レジネと漢字そこインターライター衝撃吸収カバー等でモデル化するようにしております。
0:24:42	容器内側内部への水の侵入を想定するというモデル化をしております。このミルの侵入につきましては、臨界かつ煙全体の共通事項でございます。
0:24:56	輸送物が任意の配列で原本存在するというふうに仮定して、モデル化をしております。
0:25:06	これらにつきましては、備考に示してしております通り、まず内等より外側を無視することで、安全側に依存関係を設計印刷サンゴでるんとしております。
0:25:22	また、内等の変形については、以下の理由から変形を無視し得るかしているというふうにあります。Pu落下及び落下試験位置において台等に発生する塑性ひずみは、
0:25:38	局所的かつ軽微であり、形状変化の影響は無視し得るところです。また、落下試験 2 における台等の変形については、実効増倍率への影響は無視し得るところで、今回、附属書類 5、
0:25:56	5 追加しまして、この営業を評価しておりますが、後程これは説明いたしますが、実効増倍率への影響は無視できるということが確認できます。で、熱的試験における内等の拡大につきましては、実行溶媒率への影響は無視し得るところで、
0:26:16	これは既存の附属書類で確認している結果となります。
0:26:23	また、容器内外での水密度については、実効増倍率が最大となるように設定した条件としているところで、これも既存の附属資料にあってはありますが、現況を表にして園芸織り込んでいるというところがございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※ 3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:26:44	メールで次の問に移る前に、先ほど申し上げた傷等内等の変形についての影響。
0:26:54	よく処理 5 として追加したものについて説明をしたいと思います。
0:27:00	こちらについては別紙の六分後いただきたいのですが、内メーターの変形を考慮した実効増倍率として
0:27:18	各所に追加しております。
0:27:21	COM読み上げますと、RAWの構造解析陶芸重点に示すように、過大な製造物のある特別の試験条件のロープを直撃する 1メートル落下試験において、特に腐食べき部ではない等々あるスペーサーが、
0:27:38	内側の内捨てられるように変形をします。
0:27:42	この辺強を確認するために、部分的に内等とある意味スペーサー周部品管の隙間なくkm違う押し付けた形状を変えた解析モデルによる計算も行った。
0:27:58	片理させる場合については、落下試験の結果をバンするように、高高については、人 II と
0:28:10	され読み上げると一貫してちょっとハッキングになるので、
0:28:17	特定のIAEA部分的な領域について、
0:28:25	適切にモデル化をしております。また傾向 1 については、代表として 45 度 90 のほうに件数を考慮しております。
0:28:39	なお変形は直撃部に限定されるため、完全反射境界の一番放映しておりませんということで、解析モデルを次のページのK5.1 からボールペン、
0:28:54	後は図に示しておりますように、リレー
0:29:01	的モデルの時ガーツと運んだようなへこんだ状態を模擬するために、このようなのでルーを 8 実効増倍率の影響をしております。
0:29:21	なお、この解析モデルベースが同等の 3.1Gの本文のほうで説明する解析モデルとの違いは、第等々ある意味スペーサー回収の変形でございます、その他の解析条件は、
0:29:41	1.3 のLCOに示したものと統一性ございます。
0:29:48	回析の結果をE-36 ページの 5.1 章に集めておりますが、内等でアルミスペーサーカーの変形がないもの等変形ありページ 9595、それぞれ記載して、
0:30:06	2 のほうを評価をまとめた結果がこちらに載せてありますが、当実行増倍率は変形あり 45 度 90 と情報資産につきましても、返金なcとほぼ変わらないというような結果が知られております。
0:30:30	そうしましたら、当業務処理時C5 の方に戻らせていただきますが、本体のスズキとについて、
0:30:45	に説明をしていたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※ 3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:30:48	以上いっぺんにEでございますが、こちら、
0:30:54	NUREG／及び赤試験位置、KB-A予想物の山頂状態は、各バスケットでバスケット等の
0:31:10	2の一部に局所的な塑性ひずみが発生しますが、契約基準を下回っているということを確認しております。また、
0:31:22	マーケットの一部にリンクする契約者のな作戦入ってるののみが発生しますが、基準を下回っているということが確認できています。
0:31:35	ある意味スペーサーに局所的な塑性ひずみが発生しますが、PRA儲けよう基準を下回っているということが確認できております。
0:31:47	続いて、落下試験につきましてですが、こちらは特異部貧乏スペーサーか関係します。
0:31:57	また、
0:32:00	検討の早い時期に塑性ひずみが蓄積に直接的に発生しますが、
0:32:17	すいません、ちょっと説明がしにくいので、申し上げますと、 に発生した成立日が許容基準を下回るということを確認しています。 ってところがマスキング
0:32:36	対象になりますのでご承知おきください。
0:32:40	次ですが、
0:32:44	家へ
0:32:47	質疑に
0:32:51	全国的な租税技術的が発生しますが、固溶技術企画医療設計
0:33:00	の基準を下回っているというところでございます。こちらがマスキングとなります。
0:33:09	次にに今、局所的な塑性ひずみが発生しますが、許容基準を下回るということを確認しています。こちらがマスキングとなりますので、ご承知おきください。
0:33:27	そして、最大変形時においても、保持面と当初動物の間には隙間が存在する。Aというところにおきましてございまして、燃料集合体が損傷しないということが確認できております。
0:33:47	次に目先試験でございますが、バスケット等変容B本体の熱膨張差により、アルミスパーサはK方向にわずかに圧縮変形を受けるというところでございます。
0:34:04	次に浸漬試験でございますが、15m浸漬試験において参照しない0.9m浸漬試験では、輸送容器の袋に粟津よく内部への浸水想定しているというところでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:34:22	これらの損傷状態を踏まえまして、臨界解析のMELCOR方向のところに示しますようなモデル化をしております、1.1 から 1.3 に示すように、以下の杭をモデル化するというところで、
0:34:40	ここに記載されてますましよう、対象としてモデル化をしております。
0:34:47	各部位の変形はモデルに反映せず、人間の製作公差を安全側に考慮したモデルとしております。
0:35:00	これらのモデルについてですが、備考に示します通りに、ADUらカー及び落下支店におきまして、 XXXXXXXXXX アルミスペーサーに発生する製品には的であり、
0:35:18	客席かつ軽微であり、形状変化の影響しうるところです。
0:35:25	すいませんけど XXXXXXXXXX がマスクングとなりますください。
0:35:31	続きまして、弊落下試験ににおいて生じる核変形については以下の理由から変形を無視しモデル化するというところで、特に勤務近傍のRMSスペーサーの変形については、
0:35:46	実効増倍率への影響は無視し得る附属書類 5 ってくる先ほどAM羅列名した 6 資料の中で、こちらの影響についても確認しております。
0:36:00	へえ。
0:36:02	XXXXXXXXXX には、局所的に破断を伴う損傷が生じる可能性があるが、 XXXXXXXXXX 及び XXXXXXXXXX には破断は生じず、
0:36:17	役割である XXXXXXXXXX の補助機能は維持されるということで、 XXXXXXXXXX の配置は維持されるというところを加味します。
0:36:27	すいませんすかこの申し上げた XXXXXXXXXX から
0:36:38	ちょっと説明しにくいんですけども、その、先ほど説明した部分の報告がマスクング対象になるので、ご承知おきください。ございません。次の説明ですが、Aの純増に診療集合体を損傷させるような変形は生じないところでございます。
0:36:56	目的試験におけるアルミスペーサーの変形は軽微であり、現状形状変化ないではC部ということが把握できております。
0:37:09	そういう最後に収納部Ⅱについては、二三五表にまとめておまして、U落下指へ落下地点 1、また落下地点に何故か試験におきましては、燃料被覆管は損傷しないというところを確認しております。
0:37:29	で浸漬試験につきましては、10m浸漬試験においては燃料被覆管は損傷しないというところを確認しております。これを踏まえた臨界解析のモデル化方法ですが、E. 21.3 に示しますように、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:37:46	燃料集合体のうち、燃料、二酸化ウランと燃料被覆管のみをモデル化しまして、事故方向に無限長を仮定しております。
0:37:58	燃料集合体について、前スパンの燃料棒が地面と内に均一に広がった場合を仮定しております。
0:38:07	燃料被覆管内部への水の侵入は想定しておりません。
0:38:14	のところで、備考に書いておりますが、燃料被覆管に変形は生じないから、保守的に燃料集合体について、連通管の燃料棒ピッチの変化を仮定しているというところで、
0:38:31	既存の翌週書類で影響している部分を読み込む記載としております。
0:38:43	というところで、等、
0:38:46	以下はバツ検討収納物それぞれの損傷状態をまとめ臨界させてのモデル火報影響として変まとめております。
0:39:02	法務の方に戻りますが、なお、1.1 及び 2.1 表に示したように、本解析においては、規則で定められた条件を包含するように、通常輸送時、
0:39:18	分裂性ぶつかる一般の試験条件及び特別の試験条件に対して、これらを包含する状態を考慮し、かつ、映像部内への浸水動かせるかIつけの表現を用いた評価を行うというておりました。
0:39:41	委員長のよう、どう、
0:39:44	その状態と解析モデル化方法、また追加で回析実機解析を追加したというところで附属書類を追加しましたが、その 0Eとあわせて、別紙 7 に示します通り、
0:40:03	K文章は内
0:40:06	線の本文カバーの変更も実施しております。
0:40:15	先ほど申しあげました等にその記載の多くは、
0:40:23	場所A及び保証BAで臨海開発支援を要する形状なんかを書いていた影響は書いていたところを、
0:40:35	EPMA等の変形等の記述に文明して、損傷状態の臨界解析モデルのところについては、N小委員として臨界解析で説明するようにいたします。
0:41:01	ページが本省の影響。
0:41:07	内CBはB二成分影響評価してる部分は抜いたような記載になって実査委員会解析Eの傾向につきましては、儂flexural1、
0:41:25	追加した反映部分に応募するん記載を加えた部分と、それに伴い本文もより実態適正化した記載を、
0:41:44	占有ところがございまして、
0:41:55	あります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※ 3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:42:03	そう。
0:42:08	へり等質問に対する回答は以上になります。従いまして、質問 1 から 3 に対する回答はこちらからさせていただきます。以上です。
0:42:25	規制庁のサンゴですありがとうございました。
0:42:29	何かありますか。
0:42:32	非常に丁寧に説明していただいて、
0:42:36	ありがとうございます。結論としては、どうか、どこだ、その辺の局所的な変形ってというのは、実際
0:42:50	パラメータスタディをやっていただいて、その結果、むしろ変形しないほうが厳しいと。
0:42:58	いうことを言う人Cに理解したんですけどもそれで間違いないでしょうか。
0:43:09	三菱料金のタカハシ別サンゴを質問したのは評価に関することと思うんですけども、まず大前提としまして、容器外側内等、
0:43:24	モデル化ですがそれより外側につきましては大きく計算表を考慮した上で、本来地震を無視することが安全側ということというモデル化にしております。それ以外の部位が実際にモデル化に入ってる部分に関しましては、
0:43:39	今おっしゃられた通りに入れる状況がありそうなものに関しましてはパラスタを実施いたしまして影響がないというような確認もちょっと安全側の関係で確認しております。
0:43:52	以上です。はい。はい、ありがとうございます。
0:44:00	特に
0:44:03	よろしいと思います。ちょっと話Cも変えてもよろしいでしょうかホデですけども。
0:44:13	よろしく願います。確認ですけども。
0:44:19	そもそもそもそも的な話からちょっとします。このようなキーの運搬中に予想される温度ってというのは、マイナス 40 度から 76 ということでよろしいでしょうか。
0:44:34	はい。
0:44:36	運転等だったらもう法令主義には間違いなく 46 からF資金でマイナス 40 度から 38 度が想定立ての有無を考えておりますが、評価上と比較しては 70 度で評価をしております。
0:44:57	ただ一応、このホデですけども、規制庁のホデですけども、この中ではマイナス 45 から 75 が
0:45:08	特に
0:45:12	運搬中に予想される温度というところで輸送物の温度ということでよろしいですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:45:23	それで、最近中でちょっといろいろ議論しているところで、
0:45:29	4条の20っていうのはちょっと外運搬規則の4条第2号のところで、
0:45:38	四番中の温度圧力の変化ということで、マイナス40度から70度というところで、
0:45:49	そうだ。
0:45:51	これ、
0:45:53	何か解析をやってくれという話は全く言うつもりはないんですけども、せっかくA-5のところで熱膨張のところで、熱膨張差を出していただいているところで、
0:46:11	仮想的な話ですけども、
0:46:15	売却ルートから⑩となったとしても全然問題ないということをちょっと追記していただきたい。
0:46:22	おそらく食う、
0:46:25	公明党Pっていうのが17.5っていうのが、
0:46:31	日が40代。
0:46:34	若干、若干この倍ぐらいあるんでしょうけど、全然影響多分ないだろうというところだと思います。
0:46:44	すいません、ちょっと後ろの作業ですよと今思っていたとしても、方法、
0:46:54	何か。
0:46:56	現在のところというか、やっぱ分けるところっていうのところにも行くんですけども、
0:47:03	fのところで、要はFっていうかともとも4条の第2号の第2号のところで、
0:47:11	運搬中に予想される温度であって、内圧の変化に対して亀裂破損のないことということで、名内部でもちょっといろいろ今花検討しているところがありまして、
0:47:27	非常に極端な例ですけども、マイナス40度から70分仮に振れたとしても、
0:47:35	全然この熱膨張とかそういう影響がないということ、
0:47:39	言っていたきたいと。
0:47:43	書き込まれました現状の記載に三菱原子燃料タカハシ率と現状の確認と記載のほう確認しまして、前40プロフェッショナル議員やっぱ問題がないということ、をいただき切れず破損のないこととということがありますんで、
0:48:02	ちょっと思えないですけども、そういう旨を明記していただければと思いますんで。
0:48:14	で、40、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:48:16	あとですね、
0:48:21	今の安全解析書の中で、住落下とか熱的試験で、今日視開きの久見崎という か密封装置の申請の担保ということでご丁寧に説明いただいているんですけれ ども、
0:48:45	積み重ねでも何か言えませんか。
0:48:49	果樹。例えば大小比較でもいいですし、この会今いろんな細かなFLによる解 析をやっていただいているわけですが、そこで何かいえるのであれば、
0:49:04	非常にダイレクトの話で、
0:49:10	ありがたいというところがあるんですけども、要は一般の試験条件で、要は 何示さなきゃいけないかったら、
0:49:21	Q性が担保できるということで、もちろん今の回析で本体に亀裂破損がないこ とということとはもう十分理解できる。
0:49:33	いうところがあります。あわせて、
0:49:42	口が開いてないよということが言えれば、非常に
0:49:46	ありがたいありがたい。
0:49:48	いうことですが、いかがでしょうか。
0:49:53	資料の2をタカハシです。今の回答のほう確認させていただきまして検討させ ていただきたいと思います。コメントの趣旨としましては、一般の保険料軽減に よって放射性物質の漏えいがないというのが俺受ける人に対応した。
0:50:13	確認等が食品というような保守的な理解でよろしいでしょうか。
0:50:20	ちなみに関数のところは実際に三つの贈呈を受けることは、
0:50:26	当たらないということで記載いただいていますので、この一言を入れておいて いただいて、
0:50:38	臨界とか遮へいとか、
0:50:40	なお言えば、遮へいについてもですね、何か
0:50:47	スミ型でどうなるということは多分ないと思うんですけども、
0:50:54	非常に難しいところがありまして、
0:51:00	例えば5倍荷重ですね、緩衝材変形しないとか、
0:51:04	いうことができれば、
0:51:06	それはそれで結構ななんかそういうことは、
0:51:11	確認できないでしょうか。
0:51:18	2点目、
0:51:25	タカハシです。No.整備部長。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

0:51:31	さんのおっしゃられてるような合理的に考えているんですけども、同趣旨としては一般の方については、一般の試験条件だと思いますが、要求にこういった放射性物質の方がいないところをもっとやはり計算
0:51:48	をいかにして決めるシートがないこと、この二つが要求事項になると思うんですが、
0:51:56	緩衝体の変形といったものは、今一般の試験条件で計算m落下した際の車上ほど程度変化するかというのは評価しておりますが、見方で、
0:52:09	動きまして、返却するのかわりとなれば包絡されると、その辺を明確にするということということによろしいでしょうか。はい、結構です。ごめんなさい。
0:52:25	はい。規制庁のホデですけどそれで結構です。
0:52:28	大きく2点ありまして、ONIに関するところ
0:52:35	当然ミック協会になるところの健全性に関する案件で、何かの何かしら機器ができないかとは、社会に対する影響という観点で、経費に関する検討、何かできないかと、歳出必要があるのではないかとということを議会に出しましたので、本当に
0:52:56	この五つのメンバー終わりましたら、社内で検討しまして、何らかの対応させていただきたいと思います。すみません。よろしく願いいたします。
0:53:06	はい。よろしく願いいたします。
0:53:12	規制庁の方もですね他に何かございますか。
0:53:18	カワノMSから何かあれば、
0:53:25	むしろ頻度が減る特にございません。
0:53:33	これについて評価。
0:53:36	はい。規制庁さん三菱原子燃料タカハシで特に保修課はございません。
0:53:46	はい。規制庁サンゴですけど。それではこれで本日の面談を終わりたいと思います。ありがとうございました。どうも、ありがとうございました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。